

乳癌周術期薬物療法のアルゴリズムにおける PET/CTの重要性

座長

久保田 一徳先生

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 主任教授

演者

池田 雅彦先生

福山市民病院 乳腺甲状腺外科 副院長

日時

2026年8月25日（火） 18:00-18:40

近年、乳癌の周術期薬物療法はホルモン療法、化学療法、抗HER2療法のみならず、カペシタビン、S-1、アベマシクリブ、ペムプロリズマブ、オラパリブなどによるエスカレーション治療をいかに適応させていくのが最重要課題となっています。よって、これら薬剤の有用性を証明した臨床試験の患者背景を正確に理解することが求められます。いくつかの試験では病理学的リンパ節転移個数が薬剤の適応を決める因子になっていますので、画像診断によって治療前のリンパ節転移個数を推定しておくことは治療戦略を立案するにあたって重要と考えられます。今回は、この点におけるPET/CTの有用性・重要性に焦点を当てて解説いただきます。本Web講演会が、ご視聴頂く先生方の日常診療の一助になれば幸いです。多くの先生方のご参加をお待ち申し上げております。

事前視聴登録サイト

下記URLまたはQRコードより、事前登録をお願い致します。
ご登録後、当日視聴用URLを別途改めてEメールにてお知らせ致します。

URL

<https://lpage.nmp.co.jp/FDG260825.html>

事前登録いただいた方には、ご登録完了後24時間以内に登録完了メールを差し上げます。
※一部、Gmail等をご利用の先生方には弊社からのメールが届かない事象が発生しております。
登録完了のメールが届いていない場合は、お手数ですが下記の問合せ先までご連絡ください。



Zoom Webinarの使用方法について

URL

<https://www.nmp.co.jp/member/zoom/webinarinfo/index.html>

本セミナーはZoom Webinarを利用して配信いたします。当日は5分前より入室可能です。